



2023年7月2日

7月第一主日礼拝式／聖餐式

21 「イエス、わがすべて」

喜び 平安 愛 イエスのなまえにあり
信仰 恵み み救い イエスのなまえにあり

幸せ ゆるし 永遠のいのち

心のすべての希望

イエスのなまえにある

イエス イエス いま生きている

オオオ～

イエス イエス わがすべてです

164 聖い御霊よ

いま きよいみたまよ

このわたしを みたしてください
主の御座から流れ

このわたしを きよめてください
みたまにあふれ 生きる

主の栄光 あおいで
みたまにあふれ 生きる

主のみわざ あおいで

新聖歌 2番 「たたえよ救い主イエスを」

- 1 たたえよ救い主イエスを くすしき愛をば宣(の)べ
あがめよ み使いとともに とうとき主の御名をば
か弱き われら羊を 飼い主イエスはいだく

* たたえよ たぐいなきみいつ たたえよ 声も高く
- 2 たたえよ 人の罪ゆえに 十字架につきしきみを
きみこそ とこしえの岩よ 変わらぬ わが望みよ
心のやまいことごと いやされ やすき受けぬ (*)
- 3 たたえよ栄えあるイエスを 御国の かどゆるがせ
ときわに すべたもうイエスに かむりをささげまつり
まもなくイエスは来たりて あまねく地をばおさめん
(*)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌46番 「わが主よ 今ここにて」

- 1 わが主よ 今ここにて 親しく見^(まみ)えまつり
限りなき幸いを 受くるこそ うれしけれ
- 2 恵みの足^(た)れる時よ いのちの充^(み)てるおりよ
今しばし 留^(とど)まれや 主と共に われ過ごさん
- 3 ここには贖^(あがな)いあり ここには慰めあり
わが汚れ きよめられ み力は満ちあふる
- 4 面影^(おもかげ)うつししのぶ 今日だに かくもあるを
みくににて祝う日の その幸^(さち)や いかにあらん
アーメン

新聖歌354番 「迷えるとき光を」

- 1 迷えるとき 光を 疲れしときいのちを
祈らば答えをたもう 主は救い主なり
- * 重荷もなく迷いもなき 旅路ぞ楽しき
共にいますキリストこそ わが身の神なれ
- 2 まことと愛とに満ち 約束なししことを
必ずなしとげたもう 主は救い主なり（*）
- 3 いずこに我が行くとも いかなる地に住むとも
守りの手をのべたもう 主は救い主なり（*）

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン